

保健婦だより

(28)

三種混合予防接種

三種混合予防接種。この三種とは、百日ぜき、ジフテリア、破傷風をいいます。百日ぜきとジフテリアは法定伝染病で、予防接種法でワクチンの接種が義務づけられています。破傷風は義務づけられていませんが、死亡率が高いため接種しています。

三種の症状

▽百日ぜき・けいれん性のせきと、せきの最後に笛のような声を発して深く息を吹い込むのが主な症状です。熱はなく、約一カ月ぐらい苦しいせきが続いた後、だんだんと良くなってきます。

最近、予防接種を受けていない小児に多くみられます。▽ジフテリア・菌の侵入場所によって、鼻・咽頭・喉頭などに分けられます。鼻ジフテリアは幼児に多く、鼻汁に血液が混じります。咽頭ジフテリアは一番多い病型で、幼児、学童がかかります。のどが痛く、元気がなく、けん怠感、へきけ、三度前後の熱、へんとうの偽膜などが特徴です。喉頭ジフテリアは幼児に多く、

しわがれ声、犬の遠ばえのようなせき、呼吸困難が特徴です。

重症の場合、咽頭ジフテリアでは心臓障害、喉頭ジフテリアでは呼吸困難から死亡することがあります。

▽破傷風・ケガをしたときに、土の中にある破傷菌が傷口に入っておこる病気で、乳児ではミルクが飲めなくなり、成人では肩こりや開口困難が現れ、次いでけいれんが起きます。その後は回復してきますが、死亡率は三〇%と高いので注意が必要です。

接種の時期

接種は、I期、II期、III期に分けて受けます。

▽I期・生後三カ月から四十八カ月の間に、約一カ月の間隔で三回接種します。

▽II期・I期三回の接種を完了して、一年から一年半後に一回接種します。

▽III期・小学校六年生のときに一回接種します。

※接種を受ける前後の注意、予防接種を受けられない人について

では、三月十六日号広報と一緒に各家庭に配布しました「平成二年度予防接種・乳幼児健診・相談・母親教室実施計画一覧表」をご覧ください。

接種の方法

集団接種と個別接種がありますが、五月一日号広報でお知らせしたように、本年度から個別接種になりました。個別接種とは、個人が、個別の病・医院で受ける予防接種のことです。

個別接種は、子供の体の調子の良いときを選び、いつでも接種を行っている病・医院で受けられるように。また、接種回数が三期五回と多いことや、百日ぜきは生後までもない乳児でもか

かることから、個別接種のほうが良いということに変更したものです。

接種の副反応

現在使われている三種混合ワクチンでは、局所反応はありますが、発熱はほとんど認められなくなりました。

▽局所反応・二回目以降の接種で強く反応する傾向があります。接種個所が翌日(まれに数日後)に赤くはれますが、二、三日で消えます。

※また、触るとわかるような小さなしこり(硬結)が一、二カ月残ることがありますが、ワクチンのせいですが、心配いりません。

このワクチンの接種を、決められたとおり受けるには努力が必要です。予定した日に受けられないということはよくありますが、間隔があいてもかまいません。初めからやり直す必要はありませんから、続けて受けてください。大事なことは、回数をきちんと守ることです。

子供の健康を守るのは、親の務めです。予防接種を受けて病気を防ぎましょう。



ちびっこギャラリー おとうさん

向陽幼稚園



おとうさん ありさとう



かいもり みさとちゃん
ペニーランドへつれて
いってくれたんだよ。



ながい ひであきくん
いつもドライブにつれて
てくれるんだ。



わらしのちびっこ



すがわら あきなちゃん
おじとていつもがい
こくへいってるんだよ。